

在外公館長表彰の実施（日露通訳ガリーナ・リュビナ氏）

平成27年2月9日
在サンクトペテルブルク総領事館

2月5日、日露通訳ガリーナ・リュビナ氏の在外公館長表彰授与式がとり行われました。

リュビナ氏は40年間にわたり、幅広い分野で現役の日露逐次・同時通訳者として活躍しており、芸術分野では、1986年からサンクトペテルブルク・フィルハーモニー、マリンスキー劇場、ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミーといった著名な団体の日本公演に通訳として同行しているほか、我が国で開催されるエルミタージュ美術館展の常任通訳・コーディネーターを務めています（2007年「都市と自然」、2012年「世紀の顔」など）。同氏は政治分野での活動の経験も深く、橋本元総理、森元総理その他の国会議員の訪露の際の通訳を務めています。経済分野では、工場の建設事業にて技術通訳として活躍したほか、多数の国際企業展、経済フォーラムでも通訳を務めてきました。リュビナ氏はまた、1995年から露日友好協会の理事として日露の友好親善関係の促進に尽力しています。

以上のような功績を讃え、山村総領事はリュビナ氏に表彰状を授与しました。リュビナ氏は、人生の3分の2である40年間を日本に関わる活動に捧げ、日本は今や自分の第二の故郷である、日本人からは勤勉さ、働く心、人を敬う気持ちを学んだ、今後も今まで以上に日露関係発展のために働いていきたい旨述べた上で、表彰に対する謝意を表しました。



